

小木の子 われら

校区内
全戸回覧

令和7年12月4日発行

人生は喜ばせごっこ

～ 11月の生活目標「相手の気持ちを考えて行動しよう」の巻～

校長 本間 智英

早いもので、令和7年最後の月、12月になりました。子どもたち、保護者・地域の皆様にとってどんな1年だったでしょうか。子どもたちは、気持ちよく冬休みを迎えられるよう、2学期のまとめを頑張っています。

これまで同様、お子様への温かい声掛け、励ましの言葉をお願いいたします。

お店の様子の写真

温かい雰囲気にもまれた
「冬のお楽しみ会」(11/28)

さて、先週28日(金)に、「冬のお楽しみ会」が行われました。2年生以上の学年がお店を出し、お客さんを楽しませる児童会行事です。子どもたちは当日まで、どうしたらお客さんを喜ばせること、楽しませることができかを考え、お店の内容や役割分担を決めたり、必要な道具を準備したりしてきました。その過程では、考えが合わなかったり、準備が進まなかったりして、雰囲気が悪くなったこともあったようです。

しかし、お客さんを楽しませる目的を忘れず、試行錯誤しながら当日を迎えました。当日は、困っている人に声をかけ、手を添えたり、順番を譲ったりするなど、相手の気持ちを考えて行動する姿がどのお店でも見られました。そして、子どもたちの笑い声や応援する声、感謝の声などが聞かれました。

タイトルの「人生は喜ばせごっこ」とは、アンパンマンの作者である やなせ たかしの言葉です。生涯を通じて「人を喜ばせること」を人生最大の喜びとし、困っている人にパンを与えるヒーローの姿にもつながっています。

この会が成功した背景には、子どもたち全員が「人を喜ばせる、楽しませる会」をつくらうとした気持ちがあります。人を大切にしようとする心が、会全体の雰囲気を温かくし、より多くの笑顔を生み出しました。行事は、ただ楽しむだけで終わるものではありません。行事をとおして、協力する力や相手の気持ちを想像する力、自ら動こうとする意欲など、社会の中で大切になる力が育つ場でもあります。今回の経験が、子どもたちの成長の一つのきっかけとなるよう、日々の教育活動の中でその芽を見つけ、伸ばしていきたいと考えています。